



いよいよゴールデンウィーク。暖かい日が多くなりましたね。
 新学期が始まって1か月が過ぎ、子ども達は、新しい環境に少しずつ慣れ、自分のペースで園生活が楽しめるようになってきています。連休中に生活リズムを崩さないように気をつけましょう。

4月の病気

発熱 のべ 39名 嘔吐や下痢 18名
 咳や鼻水の出ている子が多かったです。
 *鼻水からの、中耳炎の併発に注意しましょう。

5月の保健行事

歯科健診 5/16(木)
 乳児身体測定 5/7(火)・5/8(水)
 幼児身体測定 5/9(木)

4月の保健指導

<4・30(火) ふじ組さん、脳のお話>

脳って何をする所？少し難しいお話をしました。
 外遊びの時、帽子は頭を守ってくれるよ。



- ・頭が暑くなりすぎないように。
- ・頭にケガをしないように。

自転車のヘルメットや自動車のシートベルトも…
 忘れないでね。



子どものスキンケア

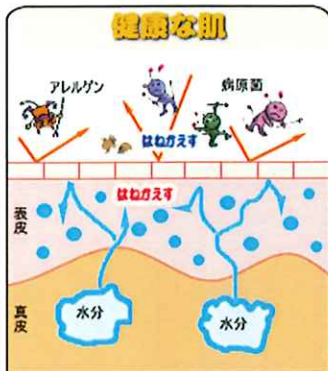
「しっとり潤って見える」子どもの肌。

生後4ヶ月～6歳頃の皮膚は、表皮が薄く、皮脂の分泌量が少ないので、実はとってもデリケート。

普段からこまめなスキンケアを心がけましょう。

特に、これからの季節、汗や紫外線などの刺激で、ダメージを受け、トラブルが起きやすいので、特に気をつけましょう。

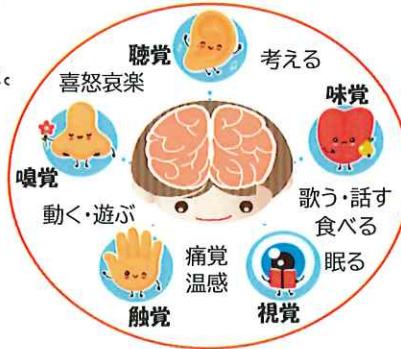
健康な肌とドライスキンの違い



健康な皮膚はバリア機能が保持されているため、外からのアレルギー、病原菌などをシャットアウト。水分が抜けていくのも防ぎます。

カサカサになった皮膚はバリア機能が低下し、外からのアレルギー、病原菌などを通過させてしまいます。また、水分が抜け出しやすくなり刺激に敏感になります。

脳は人間のコントロールセンター



けが



熱中症



大切!



子どもに多い皮膚トラブル

あせも(汗疹)

大量に汗をかくことで、汗腺が詰まり、炎症を起こしてできます。こまめにシャワーを浴びるなどして、汗を取り除き予防しましょう。

とびひ(伝染性膿痂疹)

傷口や虫刺され・あせもの掻き壊しなどから、細菌が入ることで、ジュークジュークして痒い発疹ができます。人にうつるので、皮膚の密着やタオルの共用は避けましょう。病院で診てもらい、患部はガーゼで覆って登園しましょう。

水いぼ(伝染性軟属腫)

「いぼ」のような発疹ができます。「いぼ」の中にはウイルスが潜んでいるので、掻き壊すと増えることがあるので、注意しましょう。直接接触することで感染します。プールにはラッシュガードなどで被覆すれば入れますが、プールのシーズン前に病院で除去してもらっても良いでしょう。

おむつかぶれ(カンジダ皮膚炎)

おむつかぶれが、カンジダ菌の感染で、ひどくなる場合があります。病院で診てもらいましょう。

アトピー性皮膚炎の悪化

紫外線による乾燥で、肌の水分や弾力が低下し、傷つきやすく、バリア機能も非常に低下しています。

スキンケアはとても重要です。